

## 解剖学第一(形態構造医学)講座

【教育】	
1. 到達目標	人体構造に関する用語について、日本解剖学会用語、国際解剖学会用語、医学用語との関係を正しく理解できるようにする。
2. 現状説明	講義、骨学実習、解剖実習などにより、到達目標の達成を目指している。 新たに液晶モニター2台による標本や解剖手順などの提示を行っている。
3. 点検・評価	教室員全員が最大限努力して対応している。
4. 目標・改善方策の達成度	例年、勉学意欲が喪失あるいは著しく低下した学生の数名が不合格となっているが、大半は翌年の再履修で合格となっている。
【研究】	
1. 到達目標	①ヒト上肢の運動機構、②哺乳動物の内分泌機構についての研究を進める。
2. 現状説明	①では、健常者を対象に動作筋電図、神経筋電気刺激法、post-stimulus time-histogram法、electromyogram-averaging法などを用いて上肢筋の脊髄神経機構などについて調べている。 ②では、ラットなどを対象に光学・蛍光・レーザー・電子顕微鏡、Western blotting、RT-PCR、ELISA などを用いて消化管におけるステロイドホルモンの産生などについて調べている。
3. 点検・評価	常に最新、最善の方法を模索しながら、研究を進めている。
4. 目標・改善方策の達成度	①、②に関わる課題で科学研究費を獲得している。
【社会貢献】	
1. 到達目標	解剖実習室を、本学以外の学生教育、医療従事者の卒後教育などにできるだけ開放する。
2. 現状説明	例年、①学外の理学・作業療法学科、看護学科などの学生の解剖・見学実習、②看護師などの見学実習、③臨床医の内視鏡および手術トレーニングなどに開放している。
3. 目標・改善方策の達成度	③のためのご遺体を増やす。

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2020)	刊行状況	研究情報備考
1-1. 論文/原著 (査読有)	Nito M, Yoshimoto T, Hashizume W, Shindo M, Naito A.	Vibration decreases the responsiveness of Ia afferents and spinal motoneurons in humans.	J Neurophysiol. 2021 Oct 1; 126(4): 1137-1147. PMID:34495775	IF=2.714, Q3		B
1-1. 論文/原著 (査読有)	Annelies Vennekens, Emma Laporte, Florian Hermans, Benoit Cox, Elodie Modave, Adrian Janiszewski, Charlotte Nys, Hiroto Kobayashi, Bert Malengier-Devlies, Joel Chappell, Patrick Matthys, Marie-Isabelle Garcia, Vincent Pasque, Diether Lambrechts, Hugo Vankelecom	Interleukin-6 is an activator of pituitary stem cells upon local damage, a competence quenched in the aging gland.	Proceedings of the National Academy of Sciences. 2021 June;118(25): e2100052118. PMID:34161279	IF=11.205, Q1	E Only	D
1-1. 論文/原著 (査読有)	Hiroto Kobayashi, Nobuyuki Shirasawa, Akira Naito	Age-related alterations of gastric mucosa and estrogen synthesis in rat parietal cells.	Histochemistry and Cell Biology. 2022 Feb; 157(2): 195-204. PMID:34807301	IF=4.304, Q1		B
1-1. 論文/原著 (査読有)	Lara Hemeryck, Florian Herman, Joel Chappell, Hiroto Kobayashi, Diether Lambrechts, Ivo Lambrichts, Annelies Bronckaers, and Hugo Vankelecom	Organoids from human tooth showing epithelial stemness phenotype and differentiation potential.	Cellular and Molecular Life Sciences. 2022 Feb 26; 79(3): 153. PMID:35217915	IF=9.261, Q1		D
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	Nito M, Yoshimoto T, Hashizume W, Naito A	Monosynaptic facilitation mediated by group Ia afferents from the extensor carpi radialis to the abductor digiti minimi motoneurons in humans.	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会, 箕面市 (大阪); 2022年3月 (Web)			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	Yoshimoto T, Nito M, Hashizume W, Naito A	Inhibition of group Ia afferents from the anterior part to the posterior part of the deltoid in humans.	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会, 箕面市 (大阪); 2022年3月 (Web)			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読無)	小林裕人, 白澤信行, 内藤輝	ラット胃のEstrogen産生と肝Estrogen受容体の加齢変化	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪; 2022年3月 (オンライン)			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催			第38回山形形態機能研究会, 山形; 2021年11月			